



第20回身近な水環境の全国一斉調査結果概要

発行日 2023年12月2日
 編集 全国水環境マップ実行委員会事務局
 発行 全国水環境マップ実行委員会
 発行所 全国水環境マップ実行委員会事務局
 問合せ先 全国水環境マップ実行委員会
 事務局 みずとみどり研究会気付(申込・問合せ)
 〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
 TEL/FAX: 042-327-3169
 E-mail: mizutomidoriken@ybb.ne.jp
 URL <https://www.japan-mizumap.org/>
 発行部数 5,000部

全国一斉調査のツイッター  X(旧ツイッター) やってます
<https://twitter.com/308v6OKPPcJQWc9>



本調査は公益財団法人河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています。

第20回 2023

身近な水環境の 全国一斉調査

●●笑顔でつなぐゆたかな水辺●●

第20回 調査結果概要 2023

目次

I 調査の背景	P.1
II 調査の実施手法	P.2
III 調査結果の概要	P.3
全国一斉調査諸データの推移	P.4
2023 全国水環境マップ 第20回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.5
2004 全国水環境マップ 第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.6
IV 各ブロックでの調査結果	P.7
北海道地方	P.7
東北地方	P.8
関東地方	P.9
北陸地方	P.10
中部地方	P.11
近畿地方	P.12
中国地方	P.13
四国地方	P.14
九州・沖縄地方	P.15
V 20周年記念企画「調査地点・調査河川の昔・今」	P.16
VI 継続調査参加団体	P.19
VII 全国水環境マップ実行委員会名簿	P.20
VIII 身近な水環境を調べよう! 第20回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い	P.21
第21回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙	P.22

※「身近な水環境の全国一斉調査」は、毎年6月に統一調査日を設け、2004年から市民団体と河川管理者が連携して、全国の河川や湖沼など身近な水環境の水質を調査しています。本誌は、その結果をマップとしてまとめ、参加者のみなさんのご意見も掲載しました。

調査器材は(株)共立理化学研究所から提供を受けています。

全国水環境マップ実行委員会

後援 国土交通省 環境省

印刷 エキノックス



I 調査の背景

市民や学校の子どもたちによる身近な川の
一斉調査は1980年代の半ばから、多摩川・荒川
の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で
行われてきました。しかし、調査の方法や項目
などは必ずしも統一されておらず、水質の測定
精度も十分に保証されていませんでした。この
ような多くの市民調査の結果を有効に利用する
ためには統一的な調査マニュアルを作成し、測
定精度の管理システムと全国各地の結果を比較
できるデータベースを確立することが重要です。



多くの市民や学校の子どもたちが統一的な調査マニュアルにもとづき、身近な水環境を全国一斉で調査し、その結果をわかりやすいマップで表現することにより、全国の状況が一目でわかり、身の回りの環境に関する市民の理解と関心がさらに深まることが期待されます。

【身近な水環境の全国一斉調査のはじまりと10年間のまとめが一冊の本になっています。】

調査を実施するようになった社会的背景からどのようにして全国一斉調査がはじまったのか。そして、どのように全国に広まったのか。これまでのデータのまとめも含めて身近な水環境の全国一斉調査が一冊の本になっています。身近な水環境の全国一斉調査10年の歩みがわかる「見る 知る 調べる水」((有)全国環境研究会誌事務局 発行：2015年)は全国水環境マップ実行委員会事務局から定価1,500円(税込)送料別で販売中です。



「身近な水環境の全国一斉調査」は2004年6月に開始され、20年間で延べ132,705名を超える市民や学校の子どもたちが参加し、全国の調査した水辺の延べ数はおよそ110,000地点です。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待されます。

目的と意義 ~自分たちで調べて、環境保全につなげよう~

1. 身近な水環境を簡単な方法を用い自ら調査することにより、その実態を知ることができる。
2. 統一的なマニュアルに基づき調査を行うことにより、調査結果を相互に比較する際の精度が向上する。
3. 身近な水環境の調査結果をすぐに知ることができる(行政による水質調査結果の公表はおおよそ1年後である)。また、全国の結果も速報値として数か月後に知ることができる。
4. 河川などの流域で、多くの人たちが調査に参加することにより、面的につながりのある結果が得られる。
5. 同一条件で調査した身近な水環境と他の地点の結果を比較することにより、身近な水環境の状態を評価できる。
6. 身近な水環境を流域、さらに広域の環境へ結びつけ、水環境の保全を考えるきっかけとなる。
7. 水の汚れの原因を調べ、考えるきっかけとなる。
8. 汚れの原因が明らかになれば、水環境を保全・修復するために、身近にできる実践活動に結びつけることができる。
9. 調査に参加した多くの人たちと連携の意識をもつことができる。
10. 子どもたちが調査に参加することにより、100年の眼で将来に活動を引き継ぐことができる。

II 調査の実施手法

調査の概要

調査日：2023年6月4日(日)を中心に実施
調査者：『全国水環境マップ実行委員会』のもと、河川の水質に関心のある市民団体や学校などが参加。

調査内容・方法：調査マニュアルに基づき、気温、水温のほか、パックテストでCODを測定。

調査項目

●気温・水温・試水水温

一斉調査の調査票には、現地の気温・水温・試水水温と3種類の記入欄があります。現地の気温と水温を記入することで、同一日に行なった各地の気温と水温の分布を全国規模で把握することが出来ます。また、パックテストでCODを測定するためには試水水温が重要な要素であり、試水水温を測定することでパックテストの反応時間を把握して、より正確な測定を実施することができます。

●COD(化学的酸素要求量)

COD(Chemical Oxygen Demandの略称)は試水中にどのくらい酸化される物質、主として有機物があるかを示すもので、水中の有機物量の目安となります。河川水の一般的なCODの値は、きれいな水で1-2mgO/L程度ですが、水が汚れるにつれて値が大きくなります。今回の調査も同一のロット番号(製造番号)のパックテストを用いて、同一試料を3回測定し、その中央値を採用することでより正確な測定値を得ることができます。

※パックテストは、株式会社共立理化学研究所の登録商標です。

調査の手法

●採水およびCODの測定

詳しい採水方法、測定方法は下の二次元コードよりご覧いただけます。



ハンディマニュアル_採水



ハンディマニュアル_測定

ブンセキを
もっと
身近にする



常に時代に最適な技術をもって
世界中の誰でも気軽に
水質分析ができる手段を提供し
「ブンセキ」という文化として浸透させる事で
理想的な社会創造に貢献します

水質の簡易分析製品
パックテスト®



発色させたパックテストを
iPhone®で撮影し
判定結果を数値化する
パックテスト専用アプリ

今すぐ
ダウンロード



SMART PACK TEST®



目的に合った項目
を組み合わせた
セット製品

株式会社 共立理化学研究所
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

https://kyoritsu-lab.co.jp
TEL:045-482-6937

検索 パックテスト

神奈川県横浜市緑区白山1-18-2 ジャーマンインダストリーパーク

2023全国水環境マップ

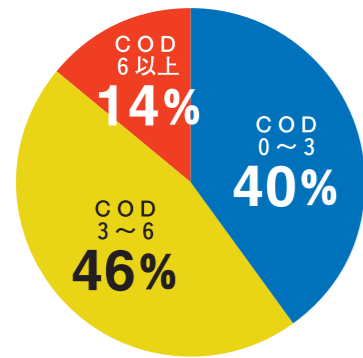
2004全国水環境マップ

第20回 身近な水環境の全国一斉調査結果

第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

凡例

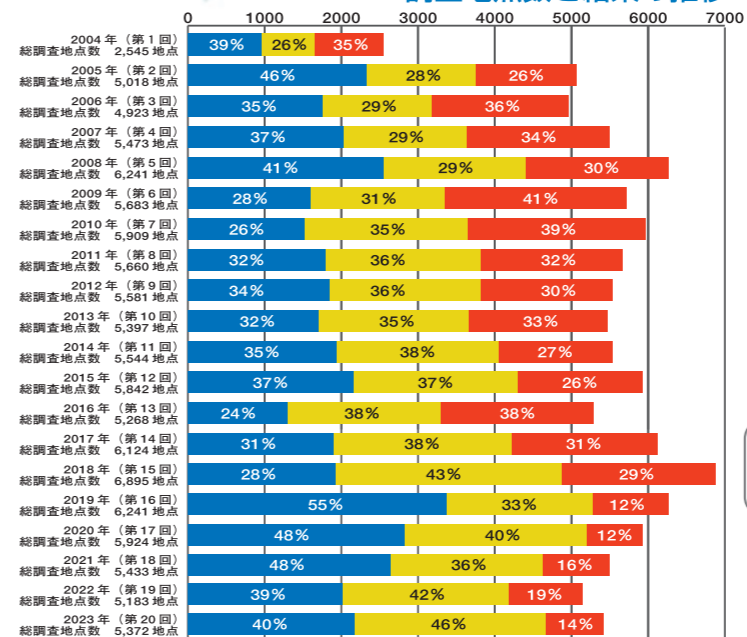
- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

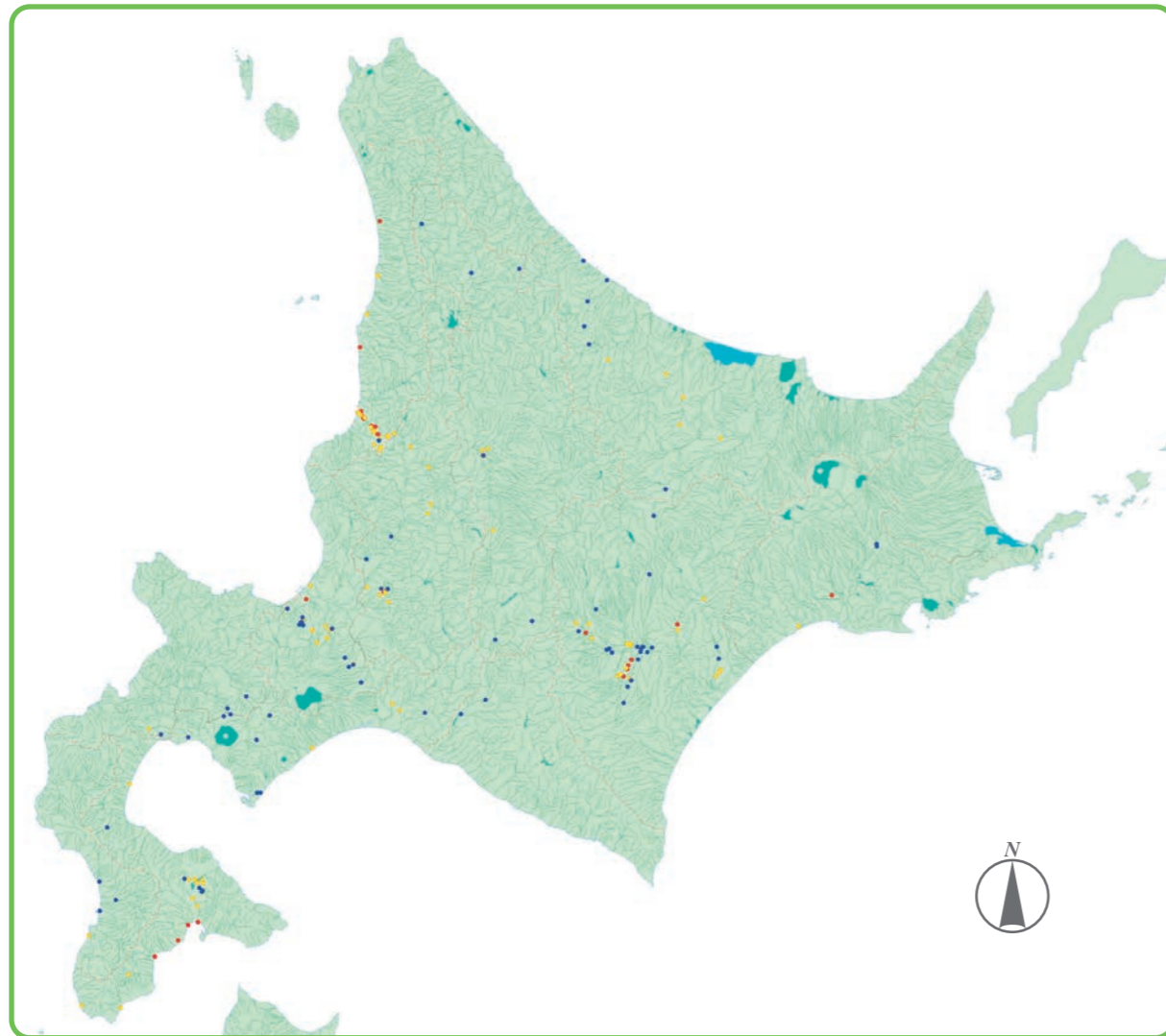
調査地点数と結果の推移



IV

各ブロックでの調査結果

北海道地方

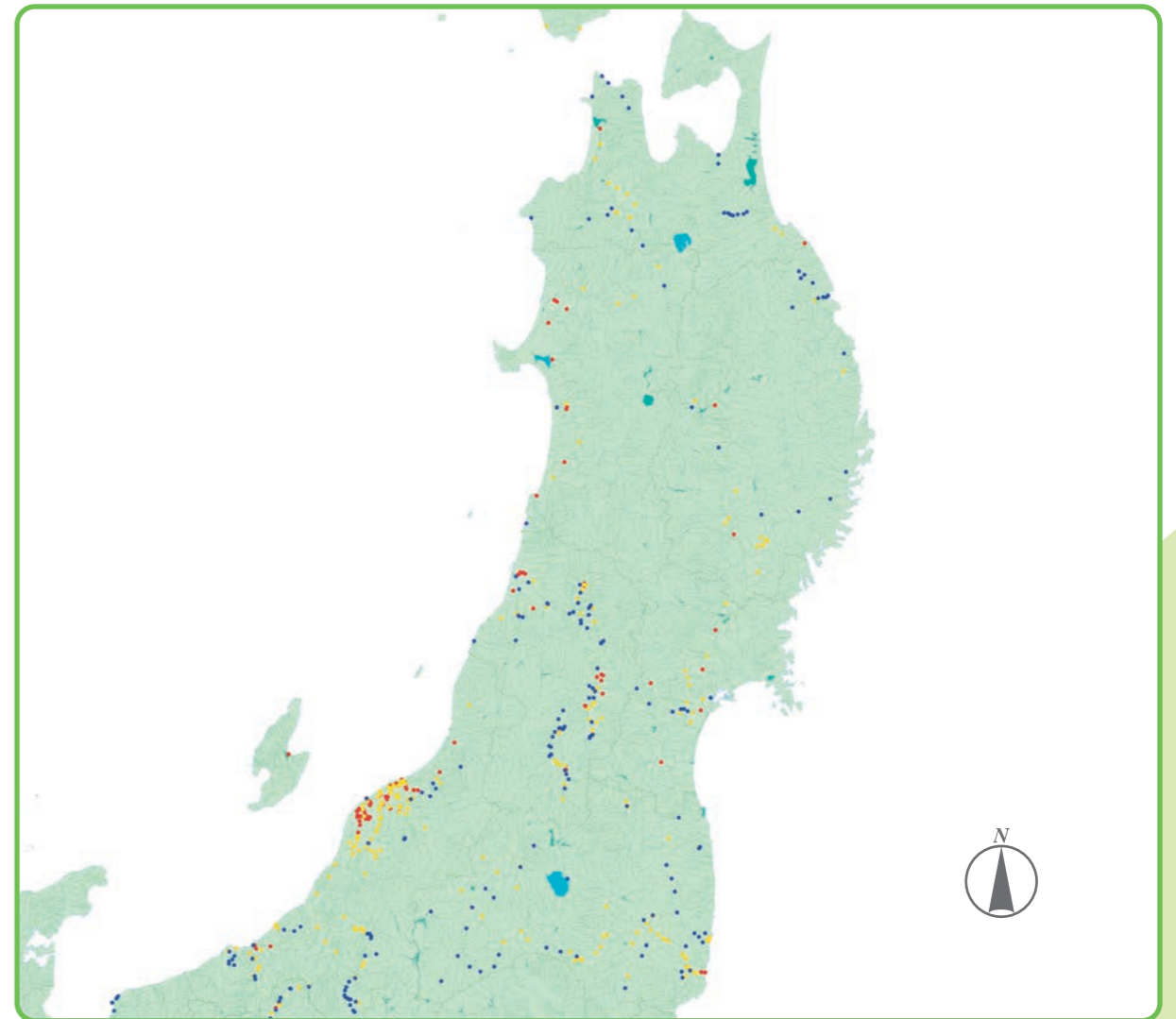


参加者からのコメント

- ・前日に雨が降り、水量が少し多かった。濁りは無く、透明で綺麗な水だった。草が茂っていた。ごみは無かった。
- ・前々日雨、前日一時雨だった影響で、水は透明だがやや黄色掛かっていた。水量は例年よりやや多い。
- ・河岸は、自然石護岸。護岸間隙にイネ科等の植生が旺盛に繁茂。ゴミは確認できない。



東北地方



参加者からのコメント

- ・前々日(6/2)は強い雨がほぼ一日中降ったためか、調査日の水は濁っていた。
- ・水量例年通り。流れ普通。濁りなし。においなし。昨年はキベリ、モンキ、両マメゲンゴロウが採取できなかったが今年は両方とも確認できた。
- ・堰があり、その上を水が流れ落ちている。上流の流れは遅く濁りはない。水面や水中にもごみは無かった。

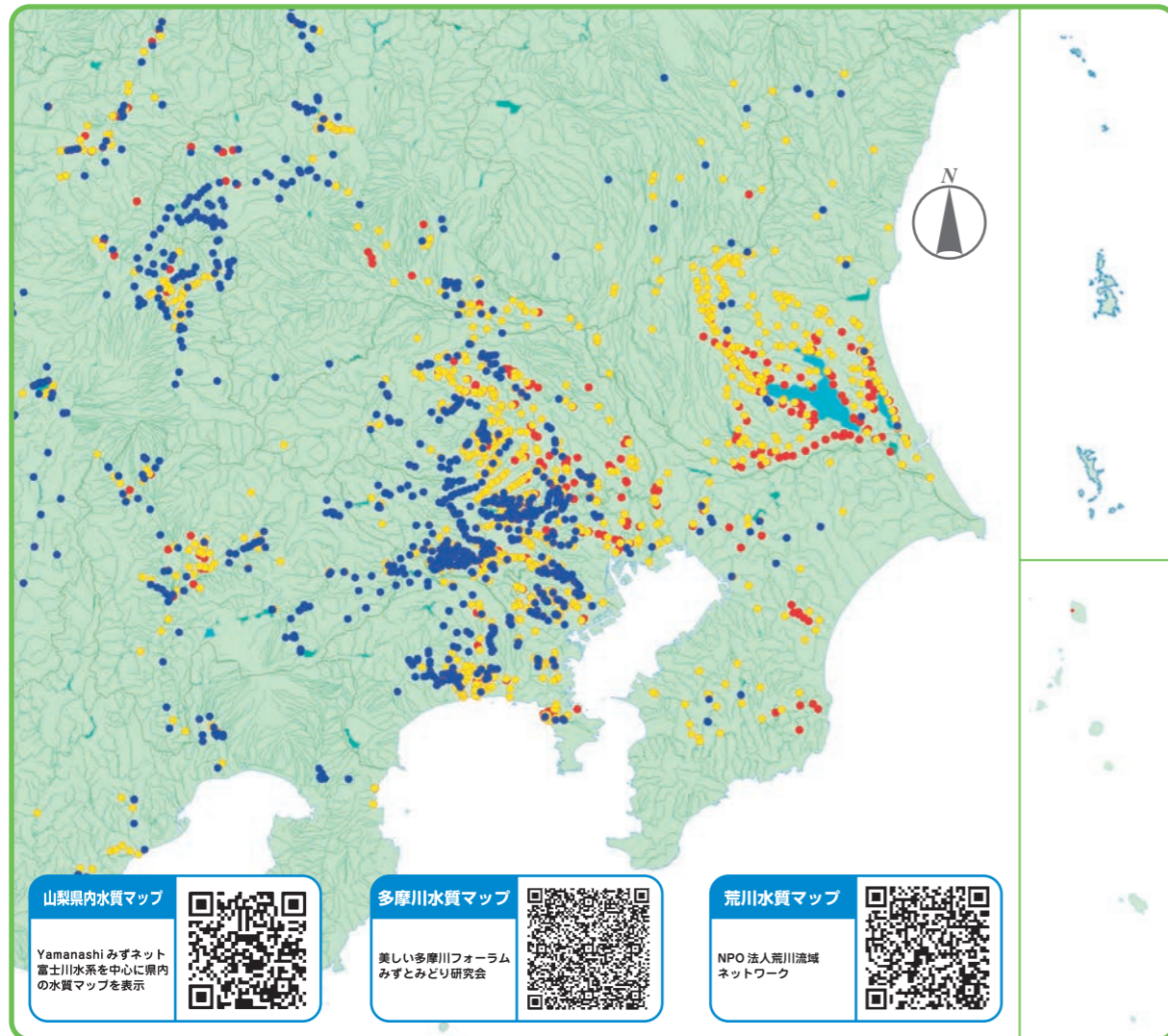


凡例 ● COD 0～3mgO/L 未満
● COD 3～6mgO/L 未満
● COD 6mgO/L 以上

IV

各ブロックでの調査結果

関東地方

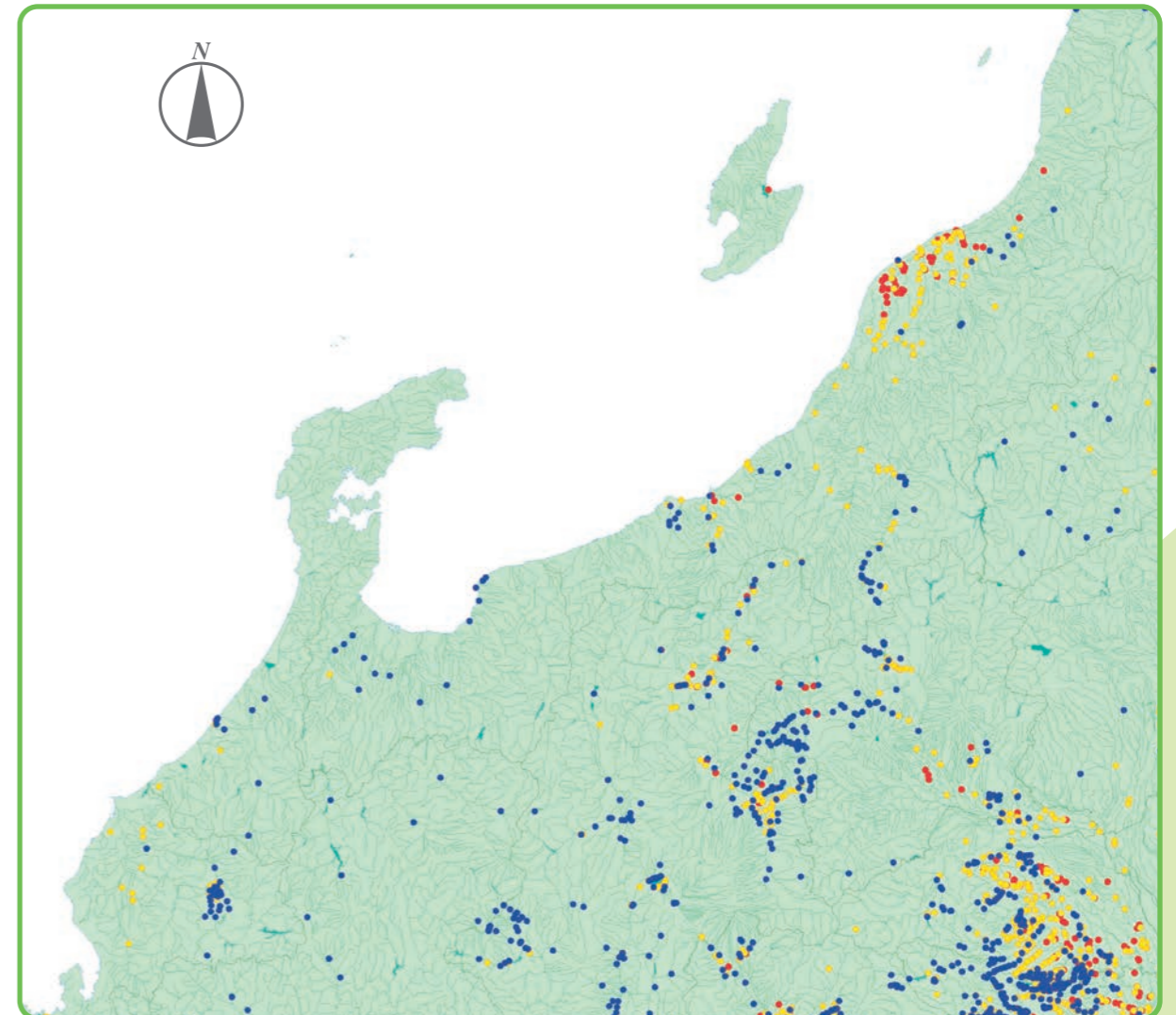


参加者からのコメント

- ・台風2号の影響か水量やや多く、流れ緩やか。濁り少しあり。川岸のアシ等草木に川の流れ跡あり。橋の自動車交通量多く、自動車騒音高く鳥の鳴き声聞こえず。
- ・数日前の大雨の影響か、捨てられたごみと言うより流されて河原の草に引っかかっているごみが多かった。また、バーベキューをやる人が多い場所の為、焚火の跡が多かった。
- ・堤防の高さの6～7割まで、前日の出水の痕あり。川床は洗われて、石がきれいになっていた。広い高水敷に魚やザリガニが取り残されていた。



北陸地方



参加者からのコメント

- ・6月2日(金)の大雨の影響で水量が多く、多少の濁りがあった。また、例年は川の中央付近で採水していたが、今年は川岸より採水した。
- ・堤防の草刈り作業中。山が見えて景色が良い。河原に公園があり、遊んでいる人もいた。
- ・ウシガエル声、今年初めてのツバメを見る。

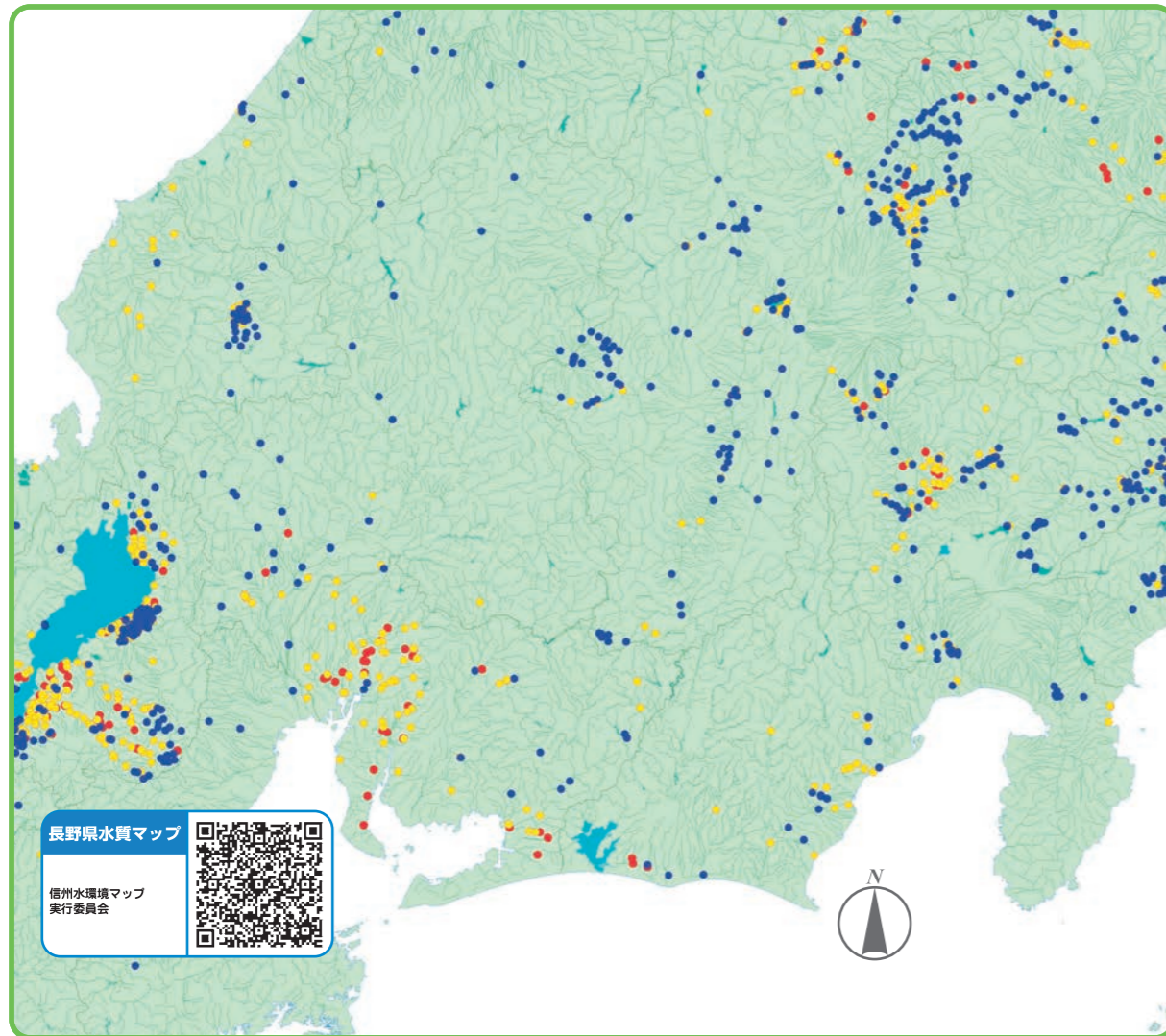


凡例 ● COD 0～3mgO/L 未満
● COD 3～6mgO/L 未満
● COD 6mgO/L 以上

IV

各ブロックでの調査結果

中部地方

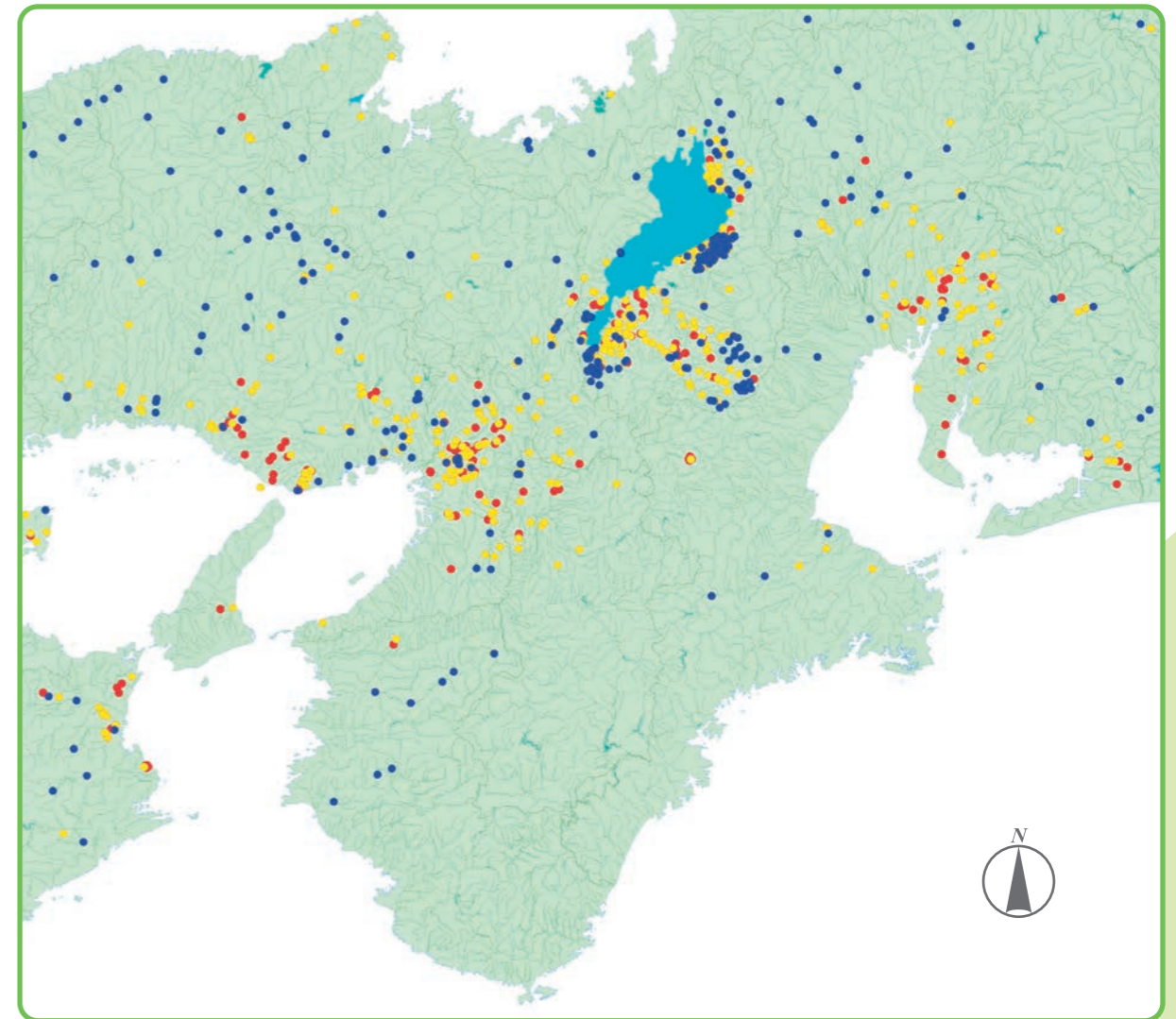


参加者からのコメント

- ・水量、前々日の大雨の影響により、水位は平常時よりも高く、水量も多かった。流れ、平常時よりも流れた。濁り、平常時は不明だが、調査日は濁りがあり、淡黄色であった。散乱ごみ、ごみ等は無く、護岸には植物等が生育している。
- ・前々日の大雨のため、濁りがいつもよりあり、水量が多く、川の流れた。また、上流から流れてきたと思われるごみがたくさんあった
- ・水量多く、速い。濁りなし。散乱ごみなし。6/2大雨にもかかわらずほとんど濁っていない。



近畿地方



- 凡例
- COD 0～3mgO/L 未満
 - COD 3～6mgO/L 未満
 - COD 6mgO/L 以上

参加者からのコメント

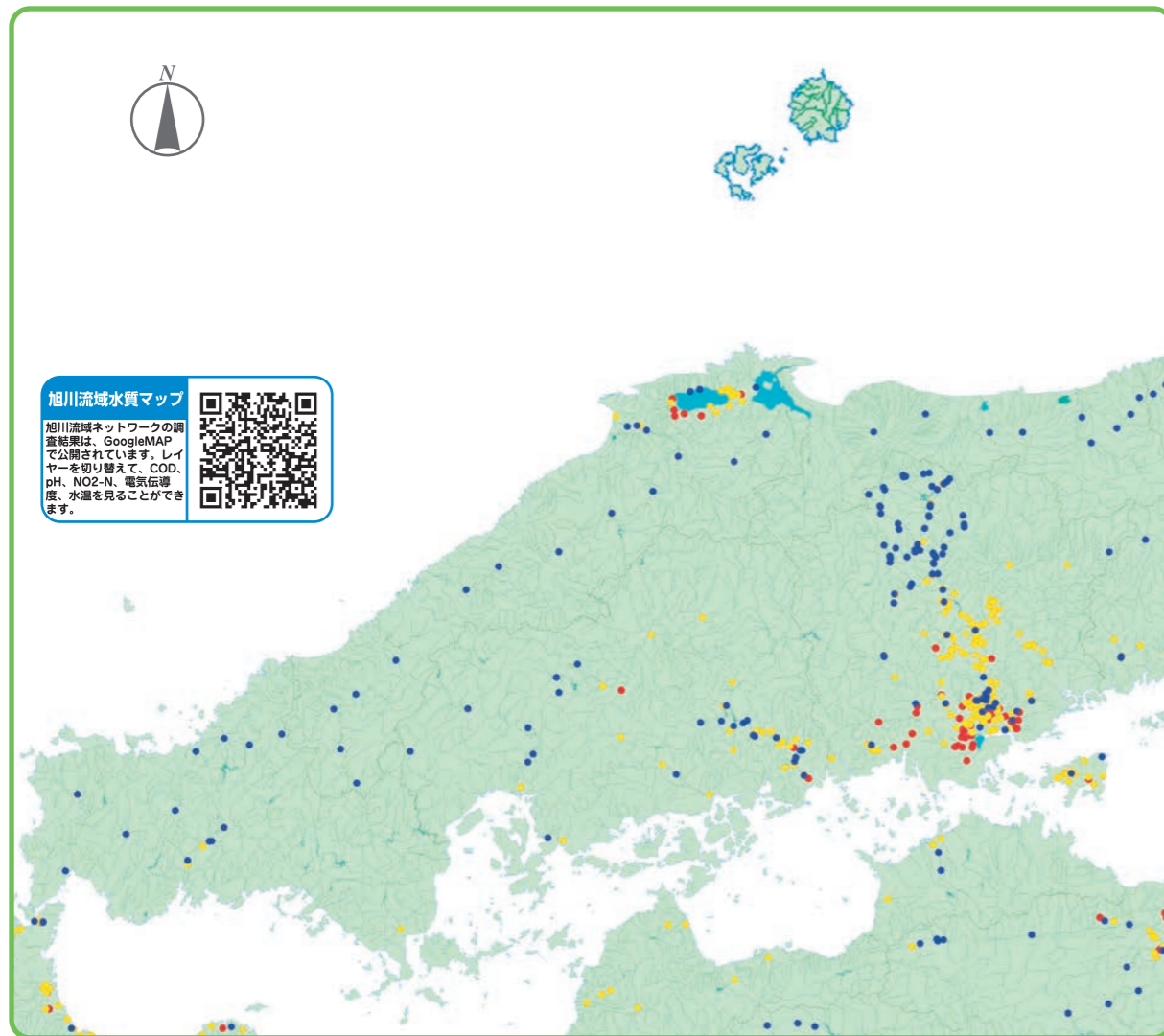
- ・前々日の雨でいつもの場所が侵入禁止になっていたため100mほど下流で取水しました。水量が多かったです。
- ・6月2日の大雨で増水したダムが放流され、護岸一杯に濁水の洪水が流れていた。昨年竣工した治水のためのダム下部放水口からダム湖底部の汚い水が流れたのか、CODは20を示した。ダムは築堤100年を越え、ダム下流採水点の峡谷の景観は今も変わらない。



IV

各ブロックでの調査結果

中国地方

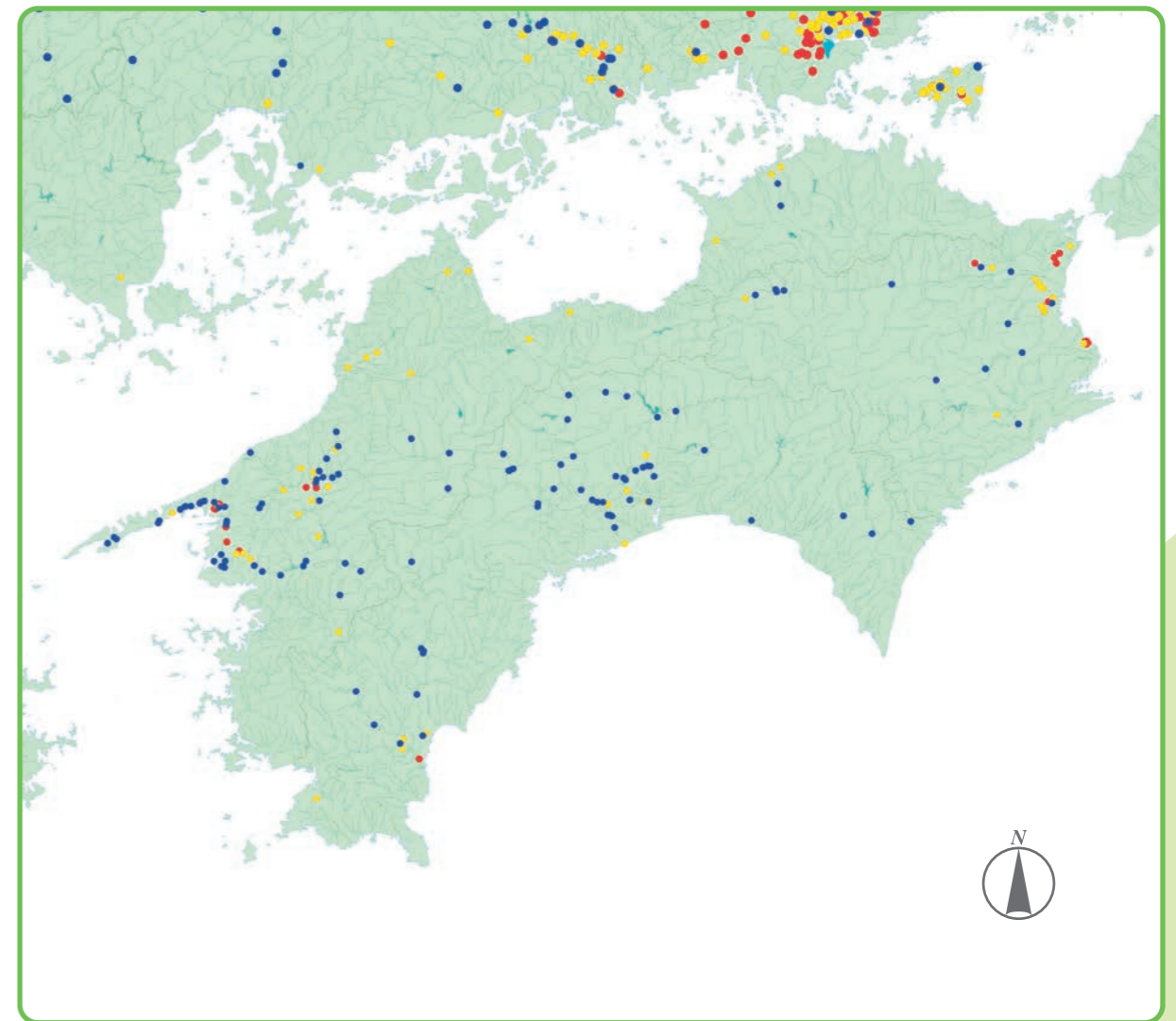


参加者からのコメント

- ・安全上、水量少なくなる時間で調査。今後は、ライフジャケットの購入を提言したい。（調査員は高齢者が多い為）
- ・鳥やカエルの声が聞こえる。周辺にゴミはない、水は澄んでいる。
- ・舟2漕艇泊。ごみ袋対岸にあり。川底見える。水深40cm。水草茂る。アイスの包装。釣り糸テグス。



四国地方



参加者からのコメント

- ・雨のあと水量多い。流されてきた枯木、枯れ草が橋に引っかかっている。材木沈んでいる。水の流れいつもより早い。川底は見える。深い緑色。 ※大雨の二日後
- ・前々日までの大雨でにごり、増水していたが、昨日の晴天で水量も減り、にごりもほんのわずかに感じられる程度となっていた。

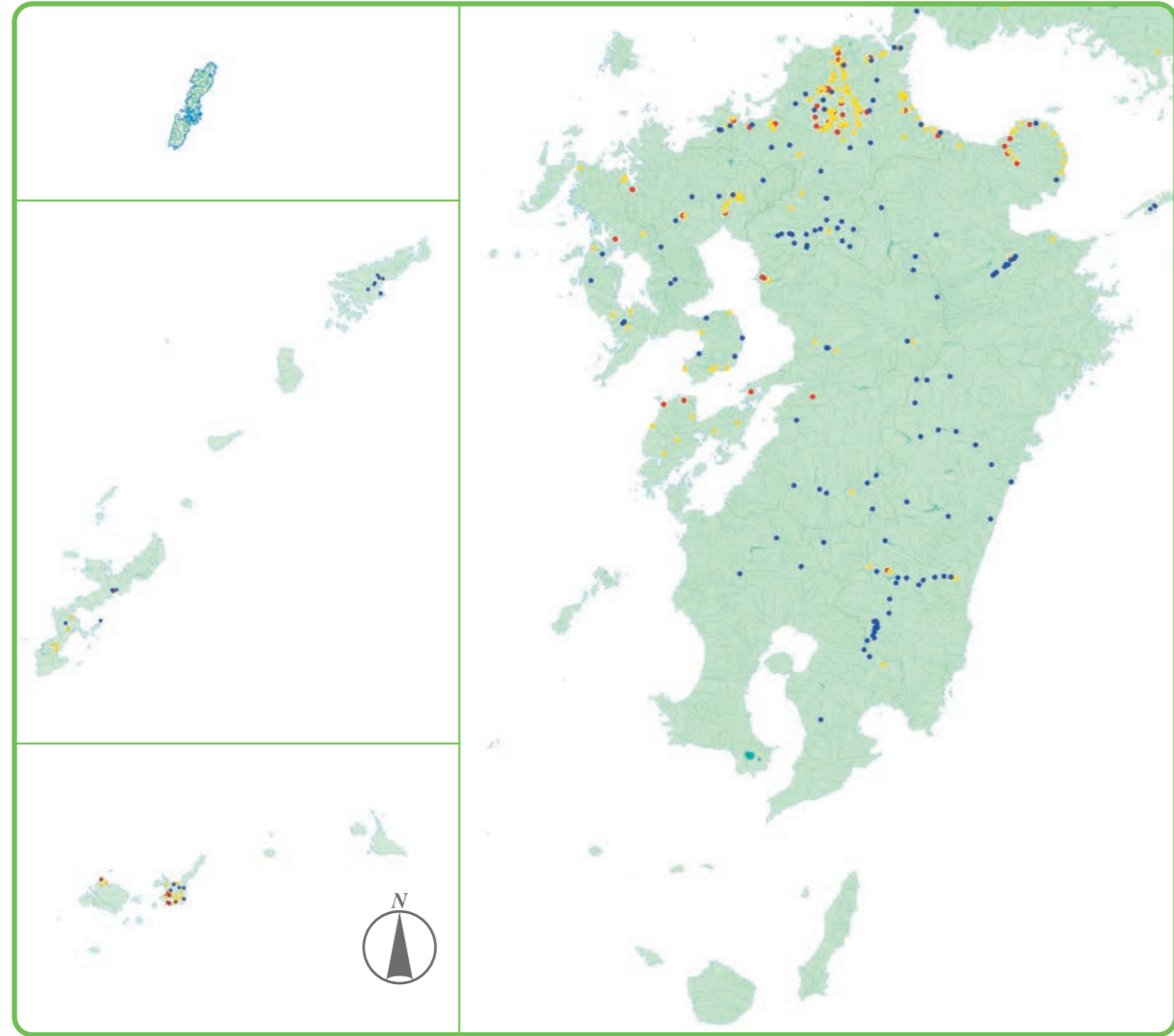


IV 各ブロックでの調査結果

V 20周年記念企画「調査地点・調査河川の昔・今」

九州・沖縄地方

凡例 ● COD 0～3mgO/L 未満
● COD 3～6mgO/L 未満
● COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

- ・濁り水が目立つ。田植えの時期でもあり。水辺付近共ごみ多し。
- ・ボランティアによる清掃の成果であろうか、調査ポイントにおける外来植物繁茂は減少傾向。川岸の堆積物による滞留は特定の場所で継続。
- ・海が目の前の本当の河口なので昨年話題になった軽石が未だ岸辺に若干残っていた。近辺の海ではトン袋に軽石を回収していた。満潮のためか水量は多い。水は濁っていないが、人によってはくさい臭いがするという人もいた。



北海道地方

本調査がスタートして20年が経ちました。今年の調査にご参加いただいた皆さまには特別企画として「調査地点・調査河川の昔・今」にもご協力いただき写真やコメントを送っていただきました。多くの皆さまからの協力、ありがとうございました。わずかですがX(旧ツイッター)でのツイートもありました。

こちらはほんの一部ですが掲載させていただき、ホームページにはお送りいただいた全ての記録を掲載しています。ぜひこちらをご覧ください。



(こちらは事務局で記入します)団体番号 01010001

団体名	NPO法人 十勝多自然ネット
河川名	帯広川、札内川
地点名(河川であれば)	帯広川・札内川合流点親水公園

2005年

2009年

2018年

2023年

コメント:
2003年、札内川の増水で増積していた土砂や流木を除去する改善を当会が実施し、合わせて親水池の水質調査を始めました。2005年からは最寄り小学校を親水公園に据え、河川清掃と魚釣り・水質測定を自然観察会を開催してきました。しかし、残念なことに、2016年の台風連続接近による大雨増水によって親水公園は東屋の流失、土砂、流木の増積といった被害が生じ、児童の利用はまよと難しい状況になってしまいました。そのため、以降、小学校自然観察会は場所を変えて実施しています。増水、激流を繰り返す川の自然の営みを考えると、残念ながら、河川の中に永続的に使える公園を設けるのは難しいと言わざるを得ません。

(こちらは事務局で記入します)団体番号

団体名	北海道パナソニックファミリー会
河川名	月寒川
地点名(河川であれば)	西岡公園(西岡水源地)

2022年

2023年

コメント:昨年より調査している。西岡水源地はバードウォッチング・トンボの生息でも有名な自然豊かな場所。2022年、付近の環境も自然豊かで、ヤブが多く見える。河川の流れが穏やかなる地点で調査。ゴキブリは少ないが、水は6月は濁りが多い印象。2023年、同じ地点で調査。前日・当日と久々の雨となったためか、昨年よりも濁りは強い印象。ごみはなく、自然環境は昨年同様。

東北地方

(こちらは事務局で記入します)団体番号 07011001

団体名	夢はたる・こおり
河川名	一級河川阿武隈川水系の支流 産ヶ沢川
地点名(河川であれば)	産ヶ沢川 親水公園

2006年

2008年

2020年

年

コメント:毎年調査を行って今年で15年目になる。2006年より近隣の小学生の子供たちと一緒に清掃活動を行っており、2008年からは調査日に合わせて清掃活動を実施しています。キタルの生息地であることから、キタル保護のため河川内の草を伐採しないでいましたが、近年では草が生い茂るのを防ぎながら用も使われてきています。

(こちらは事務局で記入します)団体番号 09052001

団体名	奥州市立水沢中学校 科学部
河川名	広瀬川
地点名(河川であれば)	江刺北上川 水辺の家校(岩手県奥州市江刺愛宕下川原)

2023年

年

年

年

コメント:
この場所は、毎年「水生生物による水質調査」を行っている。今年は、6月17日に行う。トンボ、P.H. 遠征なども毎年調査している。今年度の結果を、後日また報告します。秋刈り後で、たくさんのがいが浮いていました。

次回調査の予定

2024年6月2日(日)を統一調査日として、第21回の全国一斉調査の実施を予定しています。後日、今回ご参加いただいたみなさんに実施のご案内をお送りしますのでよろしくお願いたします。

風間 ふたば

全国水環境マップ実行委員会 実行委員長

日頃、親しんでいる身近な水環境は簡単な方法で調べることができます。

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと河川管理者などと連携し、毎年6月5日の「環境の日(世界環境デー)」に近い日曜日に実施しています。本調査は、統一した調査マニュアルと簡単なキット(無償で配布)を用い、全国で一斉に行います。調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が良くわかります。この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ(URL <https://www.japan-mizumap.org/>)や国土交通省水管理・国土保全局のホームページ(https://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyou/research/index.html)で公表されています。

実施日 2024年6月2日(日)

測定項目 気温、水温、COD、その他

測定方法 調査マニュアル、調査キットに基づき測定(※1)

参加申込と締め切り 専用ホームページダウンロードまたはP.22の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の連絡事務局(みずとみどり研究会)に、**2024年3月10日(日)**までにご送付下さい。

なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。

参加申込された団体はホームページで公表させていただきます。

事務局からのお願い

申込後、お手元に水質調査キット類が届きましたら、必ず内容をご確認ください。

※1 調査キットは、参加申込者に2024年5月頃に配布予定です。

問合せ先

○全国水環境マップ実行委員会 事務局

みずとみどり研究会気付(申込・問合せ)

〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202

TEL/FAX:042-327-3169 E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp

人と地球の、 美しい未来へ。

私たち積水化成品工業がめざすのは、環境と共生しながら、先端素材の技術を未来に生かすこと。
人と地球が調和する持続可能な社会の実現に向けて前進していきます。

積水化成品工業株式会社

大阪本社：大阪市北区西天満2-4-4 堂島関電ビル
東京本部：東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビルディング

www.sekisuiikasei.com

SEKISUIKASEI

全国一斉調査 お申し込み先

FAX : 042-327-3169 E-mail : mizutomidoriken@ybb.ne.jp

第21回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙

参加申し込み用紙はホームページ(<https://www.japan-mizumap.org/>)からもダウンロードできます。 🔍 身近な水 検索

2024年3月10日(日)までに必ずE-mailまたはFAXでお知らせ下さい。

■ これまでに全国一斉調査に参加したことはありますか

過去の参加あり

初めて

■ 参加グループ名

以前の全国一斉調査に参加された方でグループ名の変更がある場合には昨年の登録名もお書き下さい。団体名が異なると経年データとして結果が反映されません。

参加グループ名(個人参加の場合は参加者氏名、ただし個人情報保護の関係で個人名の公表は致しません)

変更前のグループ名

■ 参加グループの連絡責任者 (個人参加の場合はご記入の必要はありません)

■ 連絡先 (グループの場合は連絡責任者の連絡先、個人の場合はご自宅など)住所、電話、FAX、E-mail(特にE-mailアドレスははっきりとお書き下さい・携帯電話のE-mailは不可)

住所：〒

電話

FAX

E-mail

■ 調査予定地点名 河川名など 例) ○○県 ○○川、××用水路、△△池。

■ 河川以外の水路・水辺等で調査を実施しますか

河川以外の水路・水辺(農業用水路、ため池等)で行う調査地点がある場合には、原則として水路・水辺等の管理者や所有者の許可を得ることが必要となります。「はい」とお答えの方は別添「河川以外の調査了解調査票」にご記入の上、事務局に申し込み用紙と一緒に提出ください。(専用HP上の詳細マニュアルの注意事項を参照してください。)

はい

いいえ

■ 調査予定日 ただし、結果の返送締め切り日(6月末日)より前に実施してください。

6月2日に実施する

6月2日に実施できない【その場合の予定 月 日】

■ 調査予定地点数 水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください。

地点 (水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください)

■ 参加申し込みの確認は3月17日以降ホームページ(<https://www.japan-mizumap.org/>)でできます。

※調査の風景などの写真送付にご協力ください。お送りいただいた写真はパンフレットやホームページに使用させていただきます。

協賛企業等を募集しています

協賛いただいた企業、団体につきまして広告を結果概要パンフレットに掲載させていただきます。当結果概要パンフレットは身近な水環境の全国一斉調査に参加した皆さまや関連団体などに毎年配布しています。詳しくは、全国水環境マップ実行委員会事務局までご連絡下さい。